



茶屋町在宅診療所

「この町で生きてゆく」を支える

ハレノヒ通信

～茶屋町在宅診療所からのお知らせ～

JUNE

6

2026
VOL.10

院長コラム

茶屋町ハレノヒの完成！

茶屋町ハレノヒ完成しました！

長いあいだ準備を進めてきた、茶屋町在宅診療所の新しい建物「茶屋町ハレノヒ」が、ついに完成しました。

当院はこれまで、在宅療養支援診療所として、患者さんのご自宅に伺いながら、病気や障がいがあっても「このまちで生きていく」ことを支える医療を続けてきました。

その中で、患者さんご本人だけでなく、そばで支えるご家族にも、診察の時間だけでは話さけない思いや不安があることを、何度も感じてきました。

病気のこと、介護のこと、これからの暮らしのこと。

「こんなことを相談してもいいのかな」と胸にしまっていること。

大切な人を支える日々の中で、少し息をつきたい気持ち。

茶屋町ハレノヒは、そうした声をもう少し丁寧に受けとめ、地域の中でつながり直せる場所でありたいと思っています。

2階には外来診療の場所を、1階には地域に開かれたコミュニティスペースをつくりました。

これから、介護や医療の相談、家族同士が少し話せる場、子ども食堂、学びの会、地域の方との交流などを、少しずつ始めていく予定です。

医療者と患者さん。

支える人と支えられる人。

専門職と地域の人。

その垣根を少し低くして、肩書きの前に「ひとりの人」として出会える場所にしていきたいと思っています。

困ったときだけでなく、なんでもない日にもふらっと立ち寄れる場所。

介護をしている方が、少し息をつける場所。

看取りを経験されたご家族が、ふと気持ちを置きに来られる場所。

医療や介護が必要になる前から、地域の中でつながれる場所。

そんな「暮らしのよりどころ」として、茶屋町ハレノヒを少しずつ育てていきます。

まだ始まったばかりの場所です。

患者さん、ご家族、地域のみなさんと一緒にここから新しい日常を始めていけたらと思っています。



茶屋町ハレノヒ

茶屋町ハレノヒの準備をしていると、近くの保育園の子どもたちが、保育士さんと一緒にお散歩で前を通りかかりました。その中のひとりの園児が、茶屋町ハレノヒを見て、「いい感じになってきたねー」と言ってくれました。もう子どもたちの日常の景色に入れてもらっているようで、なんだかほっこりしました。

我が家自慢



Eさんちのマリちゃん、9ヶ月の女の子です

Eさんちの愛犬「マリちゃん」。
9か月だそうです。カメラに興味津々の様子が可愛いですね！
これからの成長が楽しみです。



お知らせ

令和8年6月から医療費が変わります

医療費の制度改正に伴い、保険診療にかかる料金が 令和8年6月1日より一部変更となっています。窓口でのお支払金額が今までと変わる場合があります。予めご了承ください。



スタッフつれづれ

新しく仲間入りしました！

精神保健福祉士 峰政裕一郎さん

皆さんはじめまして！峰政裕一郎です。
私の原点は、障害の枠を超えて地域で笑い暮らす人々と出会った小豆島での実習です。
社会を作る「境界線」を溶かし、誰もが生きやすく柔らかな社会を築きたい。そのために、一人ひとりと心を通わせる「対話」を大切に積み重ねてまいります。
一歩ずつ皆さまの身近な存在となれるよう努めます。
よろしくお願いいたします。



医療事務 相本奈都子さん

5月より新しく仲間に加わりました相本です。事務を担当します。以前も医療事務として勤務していましたが、在宅診療に携わるのは初めてです。慣れるまでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一日でも早く力になれるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。
最近鉢の寄せ植えを始めました。好きな花を選ぶのは楽しく、完成すると愛着が湧いて飾ると嬉しくなります。




編集後記


今月もお読みいただきありがとうございます。
新しい仲間が増えて、ますます賑やかになりました。
そして茶屋町ハレノヒもついに完成、オープンしました。
今まで以上にスタッフ間の、そして皆様とのコミュニケーションを大切に、気を引き締めて一つ一つの物事に向き合っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



茶屋町在宅診療所

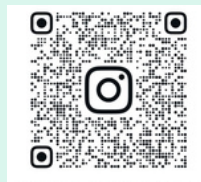
〒710-1101
倉敷市茶屋町360番地12

 <https://chayamachi-homecare.jp/>

 086-429-0033



インスタも
チェックしてね！



@TORA9_9CHAYAMACHI

